

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 大里 忠 弘

副会長 宮内 榮

幹事 金島 弘

会計 金子 芳 則

2012～2013年度 RIテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

2012～2013 RI会長 田 中 作 次



例会日時 毎週水曜 12:30～

例会場 銚子商工会館5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館内

電話 0479-25-3111(会館)

0479-23-0750(専用)

ファクス 0479-25-8789

e-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

第2734号 (2012年11月7日発行)

今週のプログラム

『薬の飲み方について』

千葉科学大学薬学部長

細川正清 教授

前回の例会報告 (10月31日)

点鐘： 大里 忠 弘 会長

ロータリーソング：四つのテスト

会長挨拶

27日には鴨川青年の家にて地区 RYLA セミナー実行委員会が行われ松本新世代育成委員長が出席されました。遠いところ大変お疲れさまでした。

本日は、第5週目の例会ですのでロータリーソングは先ほど歌った「四つのテスト」でしたが「四つのテスト」は、シカゴロータリアン、ハーバート・J・テイラーが1932年に倒産寸前の会社を再建する際モラル向上の方法として草案したものであり、ほかの多くの人たち、企業に対しても提供されることになりました。やがて RI に職業奉仕にふさわしい職業倫理として認め採用され、広く知れ渡ることとなりました。皆さんご存知のように今日では、ロータリーの基本理念の一つとなっています。

例会で歌を歌うということはシカゴクラブがまだ創立まもない頃、いわゆる職業奉仕派と親睦

派とがはげしく対立し出席率も低下、存亡の危機に陥ったとき、5人目の会員であるハリー・ラグルスが突然歌い始めたことに始まります。その後当時の幹事ウィル・R・ネップがこのままでは会解散してしまうとハリー・ラグルスに相談し、彼が指揮をとり歌うようにしたらいつのまにかクラブの雰囲気改善され、恒例のものとなりました。勿論、まだロータリーソングというものは無く、曲は当時のポピュラーソングだったそうです。

日本では当初、大の大人が歌うとは、と敬遠されていたのですがやがてロータリーソングとしてそのまま英語で歌われるようになったそうです。歌うことに慣れてくると日本語による歌を要望されるようになり「奉仕の理想」「われ等の生業」が1935年、戦後日本がRI復帰後「手に手つないで」「それでこそロータリー」が歌われるようになりました。これらの曲は作詞作曲とも日本人ですが、本日の「四つのテスト」はもともと和訳されていたものに、1973年相模原南 RC の水



地区大会を終わって帰りのバス内での会長挨拶



第2790地区

ガバナー 得 居 仁 (松戸東RC)

会報委員

大岩将道、坂本尚史、越川信一

谷暢宏会員が曲をつけたものだそうです。いつも移動例会時の宴席後、皆さんが楽しそうにニコニコしながら手を振り「手に手つないで」を歌っている姿を見ると、やはり歌はみんなの心を結び、クラブの親睦に一躍買っているんだなと思わせるをえません。

会員の記念日

- ◇ 結婚記念日おめでとうございます。
- 内田 修心 会員 (10月25日)
小田島 国博 会員 (10月27日)
宮崎 裕光 会員 (10月28日)
高橋 宏資 会員 (10月31日)
- ◇ 入会記念日おめでとうございます。
- 宮内 清次 会員 (10月26日)
猿田 正城 会員 (10月30日)

幹事報告

1. 週報拝受 ……波崎RC、鹿島臨海RC
2. 地区社会奉仕委員会特別セミナー中止に関するご案内 ……ガバナー事務所
3. ロータリー文庫 文庫通信 302号 ……ガバナー事務所
4. 奉仕室臨時ニュースレター 第1回「クラブメールアドレス」 ……ガバナー事務所

例会変更

成田空港南RC : 11月8日(木) 休会
11月20日(木) 夜間移動例会

お客様

- ◇ なし

会員スピーチ



◇ 内田 修心 会員
平成 26 年 4 月開設予定の看護学部について、教員・実習病院の目処がついた。国の補助金の申請、文科省への申請を 25 年 5 月末に行いたい。

委員会等報告

- ◇ 地区大会でのクラブ表彰 (大里忠弘会長)
ロータリー米山記念奨学会 功労クラブ
ロータリー財団 年次寄付優秀クラブ
出席優秀クラブ
- ◇ クラブ情報委員会 (高橋宏資委員長)
ロータリーの友誌 11 月号の紹介 : ロータリー財団月間にちなんで奉仕活動の紹介記事、グローバル補助金・新地区補助金の紹介記事が p 12~および p 43 に掲載されているので勉強してください。
- ◇ クラブ情報委員会 (高橋宏資委員長)
新入会員オリエンテーション
11月21日(水) 18:30~ 「うさぎ」にて

ニコニコ

- ◇ 宮内 龍雄 会員
昨今の電力事情に鑑み、今年も薪ストーブをガンガン燃やします。皆さま是非我が家に何か持って遊びに来てください。

<卓話>

《 地区大会に参加して 》

宮内 秀章 会員



今月、10月21日 日曜日 銚子クラブより 15 名で国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度地区大会 テーマ「奉仕を通じて平和を」に参加して参りました。場所は松戸市にある松戸市文化会館森のホール 21 にて行われました。この会場は、人口 48 万もの都市にあるとは思えないほど自然に囲まれた素晴らしい会場でした。
9:00 から登録開始となり、9:47 に得居ガバナーの点鐘・RI 会長代理である韓国から来られた朴さんの挨拶によりプログラムがスタートしました。私は、まずプログラムの冊子を見て一昨年 織

田ガバナー年度 銚子で開催された地区大会のことを思い出しました。ホストクラブの皆さん、準備等 きっと大変だったろうとか、また銚子で開催した時、自分の担当した表彰委員会はどのタイミングで行ったのかなとか タイムスケジュールを1つ1つ目で追っていきました。そうこうしているうちに昼食の時間となり、13:55 よりいよいよこの日のメインでもあります、記念講演となりました。講演は、ジャーナリストであり、(財) 国家基本問題研究所理事長の櫻井よしこさんです。テーマは「日本の進路と誇りある国づくり」と非常に興味深いものでした。私は櫻井よしこさんの講演は初めて聞いたのですが自分の考えをハッキリと言う素晴らしい講演でした。内容としましては、



櫻井よしこさんの講演 今問題になっております日中 尖閣諸島の問題日韓の竹島の問題にも触れられていました。RI 会長代理の朴さんが聞いている会場でどんな話しをするのか気になっていました。櫻井さんは、中国と韓国が手を結んでどうするのか、日本と韓国こそが協力しあって中国・北朝鮮の危機に対処しなきゃいけない、またお互いの歴史感が違うということを確認しなければいけないと、自分の考えをハッキリと言っておられました。

この素晴らしい講演も終わり、最後に朴 RI 会長代理の挨拶では 櫻井よしこさんの講演について 大変勉強になったと言っておられました。私はこのお二人に感銘し、地区大会に参加して有意義な一日を過ごすことが出来ました。

《 地区大会に参加して 》

佐藤 直子 会員



去る 10 月 21 日、松戸市文化会館「森のホール 21」にて、「国際ロータリー第 2790 地区 2012-13 年度地区大会」に参加して参りました。私にとっては初めての「地区大会」でしたので、これだけ多くのロータリアンが一堂に介する光景を目にしたのは初めてのことでしたので、ある意味新鮮な気持ちと、自分の所属する組織団体の存在意義を改

めて、こういう機会を通じて感じていくのだろうという期待感もあったように思います。

プログラムは盛り沢山で、こういう形で「地区大会」が催されるのかという単純な感想と共に、今年度のガバナーの本来の趣旨がどう反映されるのだろうか等、少し客観的な見方をしていましたが、また、それ以前に、このような大きな大会運営の影の尽力はいかに大変なことかと容易に想像できました。そこで、こういう大きな場においてこそ、招く側の姿勢として、お客様を「おもてなしする心得」は自分の組織ではどうなのか、または、何か模範になることはないか等、再確認することも大事だと感じました。

また、松戸市は 48 万超の人口という大きな市で、このような立派な建築物である文化会館もあれば、幹線道路を走れば、一目瞭然、色んな娯楽施設や文化的施設が目飛び込んで来て、不思議と自分の地域にないものを比較し、また探してしまうのが人の心理です。しかし、それは単なる比較であって、却って、こうして外に出て過不足を見つけることで、そこにはないハード面で優れたものやソフト面での大事なものを、自分の地域に見つけることや育てることも、地域で暮らす私たちの役目ではないかということを感じます。それは、「職業奉仕」を通して、私たちがどれだけ地域貢献が出来るか、そんなことにも繋がっていくのかも知れません。

さて、この「地区大会」の開催に際して、国際ロータリー会長からのメッセージには、「ロータリアンにとって、親睦を図り、意欲を高め、地区の奉仕プロジェクトや諸活動について知識を高める」という意向が発信されています。また、今年度の年次テーマは「奉



朴 RI 会長代理

仕を通じて平和を」ということです。もし、このことに重きを置くならば、今回の地区大会で、個人的には非常に興味深く、楽しみしていたのは、櫻井よしこさんの講演でしたが、些か政治色が強く、特にこの「地区大会」での講演ではなくても良かったのではないかと思ったのは私だけでしょうか。今年度の「奉仕を通じて平和を」というテーマに沿って、「ジャーナリス櫻井よしこ」の人間性を前面に押し出しても意外性あって面白かったかもしれないし、朴 RI 会長代理に気を遣わせることもなく、大会の趣旨からすれば纏まりある内容で締め括れたのではないかとも思います (笑)。地区大会に参加させて頂き、ありがとうございました。

《 地区大会に参加して 》

石毛 充 会員



10月21日、松戸市文化会館「森のホール 21」で開催された 2012-13 年度地区大会に参加して参りました。

私が銚子 RC に入会した年に、ちょうど所属クラブの地区大会が華々しく開催されました。外部の地区大会に参加したのは今回

が初めてでした。昨年のもぎ更津での地区大会は、当社の社員の結婚式と重なり、参加することができませんでした。

その結婚式で、生まれて初めての祝辞をお願いされ、さて、これはどうしたものかと悩んでしまいました。当日は原稿を手にしながらそれを読もうと思っておりましたが、当クラブのある会員より、「それではいけない。絶対に暗記して話さない」とアドバイスをいただき、4日前になって暗記の猛特訓を始めました。しかし、練習では一度もスムーズに話すことが出来ませんでした。そして不安を抱えたまま当日を迎えることに…。

式場に到着してドリンクサービスで、勢いをつけようというっかり水割りを飲んでしまいました。緊張をほぐすための苦肉の策でしたが、それが良かったのか本番では堂々としたスピーチをすることができたのです。

司会の方や、列席者の方々に、「さすが社長さんだけあって慣れていらっしゃるんですね」とお褒めの言葉をいただきました。新郎が私と同じような坊主頭だったので、スピーチの中で、「髪型がお揃いでなんだか親近感がわきますね」と話したらすごく受けてしまい、皆さんは大爆笑でした。

このようなこともあって、私にとっては地区大会という、当クラブの地区大会と結婚式の祝辞のことが一番に心に浮かんでしまいます。

こうして色々な場所で、自分自身が様々なことを学び、それによって変わってゆくことができる、またロータリークラブの会員としてきちんと責務をこなし、積極的に実践していける今の環境に、心から感謝したいと思います。

ところで、今の若者は日本国民としての誇りをあまり感じていないように思うのですが、みなさんはどのように感じますか。これはとても残念なことだと思っております。

自国を大切に思う心、そして平和を願う心は、我々日本国民だからこそ強く持ちたいものであるはずで。貧困と高度成長による繁栄、戦争と平和を体験した国民だからこそ分かる、大切な心です。今も世界のあちこちで戦争は絶えませんが、日本の歴史こそが常に未来には希望と可能性のある事を示しています。奉仕を通じて平和を信じ、そして希望を掲げてベストを尽くしていきましょう。

最後になりますが、地区大会とはどういったものなのかを少しずつ理解することができてまいりましたが、まだまだ底が浅く、勉強が必要です。これからも会員の皆様と共に、一生懸命学んでまいりたいと存じます。

【出席報告】

会員総数 40名 出席計算 38名

出席：31名 欠席7名 出席率 81.58%

欠席：石川君・栢尾君・越川君・松本君・織田君・島田君・杉山君

【M U】

杉山君 (10/30 銚子東)、内田君 (10/28 RAC)

☞ 地区 RYLA セミナー (10/27)

松本君

【RAC 11 月例会のお知らせ】

11月5日 (月)：千葉科学大学マリーナキャンパス 2103 教室、17:00 点鐘

11月19日 (月) 休会、

11月17日 (土)、18日 (日) 移動例会・青澄祭

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 8,000	計	¥ 190,000
スモールコイン	¥ 3,100	計	¥ 28,595
米山 BOX	¥ -	計	¥ 20,939

次週のプログラム (11月14日)

『R財団「未来の夢計画」について』

青野秀樹国際奉仕委員長

お弁当：膳 (幕の内)